

## コールセンター Q&A

### Q121

採血困難な方で、HbA1c(ヘモグロビン A1c)を依頼したいのですが、血液量はどのくらい必要ですか？

### A121

規定量は「血糖用容器(E)」に2mL となっています(写真①)。

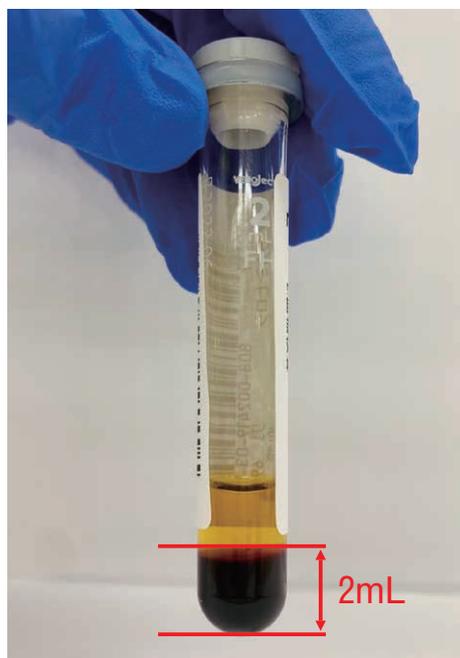
検査に必要なのは赤血球です。必要量の目安としては、遠心分離後、赤血球部分が容器の底から1cm 必要です(写真②)。

検査ができない場合は、提出医療機関に『検体が少量のため検査取り消し』となる連絡をし、報告書にその旨のコメントを付記させていただいております(当検査センター全体で1週間に2-3件あります)。

これ以外にも、凝固、強溶血の場合も検査困難なため、検査取り消しの連絡をしています。

なお、血糖高値のため HbA1c の追加検査を依頼される場合があるかと思いますが、検体の保存期間(6日間)は追加依頼を承っております。

写真① 遠心分離前



写真② 遠心分離後



担当 生化・免疫係

<広報委員> 谷敷 圭美 / 石田 啓 / 石田 有里 / 新見 唯可

\*ウェブサイトでもご覧いただけます。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>